

成果の説明書

(氏名)増田 正	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①研究上の成果</p> <p>・本年度は科学研究補助金・基盤 C における「地方議会会議録のテキストマイニングによる審議内容の可視化に関する研究」の 3 年目であり、研究成果として「北関東地方における政策課題と地方議会改革-主要 7 市議会会議録のテキストマイニング分析-」(『地域政策研究』18-2・3, pp.33-49, 2016.1) を発表し、翌年度における研究全体の総括に向けて順調に取り組んでいる。これは、平成 27 年 7 月 11 日の日本地域政策学会「政治・行政分科会」における報告である「中核市・特例市議会における政治課題と地方議会改革」をベースとして論文化したものである。</p> <p>②教育上の成果</p> <p>・群馬県選挙管理委員会との連携は 6 年目を迎えた。とくに今年度は、公職選挙法の改正により 18 歳選挙権が実現し、若者の投票参加への期待が高まった。この機をとらえ、社会的な要請にもこたえるべく、積極的にゼミ活動を展開した。近年における継続的な活動の結果、社会及びマスコミからの認知度も高まり、地域団体や高校側からの講演・協力要請にこたえながら、ゼミ生に対して実践的な教育活動を展開することができた。ゼミ活動は学内の教育活動であり、学外向けの課外活動は、「TCUE 投票ファクトリー」として区別している。同団体は群馬県内の若者投票啓発団体として認知され、「若者選挙ネットワーク」にも参加・登録されている。ゼミ生はテレビや新聞等に繰り返し登場することで、彼ら自身の啓発になるとともに、大学の宣伝にも大いに貢献していると考えている。</p> <p>③社会貢献上の成果</p> <p>・引き続き、群馬県個人情報保護審議会委員、高崎市男女共同参画審議会会長を務めている。学会活動では、日本地域政策学会常任理事(編集担当理事)、日仏政治学会幹事を務めている。</p> <p>・群馬テレビのニュース・コメンテーターは、番組編成上の理由により 12 月で終了した。平成 21 年 4 月から 6 年以上担当したことになる。解説では、教育・大学関係の問題、政治の問題について言及することが多かった。</p> <p>・地域貢献の意味もあり、メディアからの取材には出来る限り応じることにしている。ゼミ生への取材要請もかなりあり、合計すれば一年に数十回に及ぶ。取材対応は時間を取られるために負担だが、協力は惜しまないつもりで取り組んでいる。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>・地域政策研究科長職も 2 期目となり、大学院改革に積極的に取り組んでいる。毎週水曜日 6 限に研究科長相談時間を設けるなど、社会人が入学しやすいように創意工夫を行っている。実際に社会人、一般学生、留学生から相談を受け、そのうち何人かは実際に受験に繋がった。</p> <p>・新年度から研究科にコース制が導入される。これにより、体系的な履修が可能となるとともに、養成する人材への経路を明確化したことで、今後は志願者増につながっていくものと期待している。</p>	

3 次年度以降の計画・抱負

・ 科研費による研究の取りまとめ年度（4 年目）にあたる。そのため、研究成果の冊子化が計画されており、当該研究期間内に実施した研究を総括する予定である。

・ 部局長の一人として、年度計画の着実な実施に加え、博士後期課程の改革にも取り組んでいきたい。指導教授を中心とした個別指導の良い面に、副査や関連領域の教員による集団指導を加味することで、研究科の優れた面をいっそう強化し、結果として志願者増・輩出者増につなげていきたい。平成 27 年 3 月に設置した大学院改革委員会が鍵となる。メンバーを拡張し、新規のアイデアを募りながら、即効性のある改革に集中的に取り組んでいきたい。